

令和2年度行政評価 施策評価シート (令和元年度実績)

施策名 少子化対策の推進

施策コード 5020104

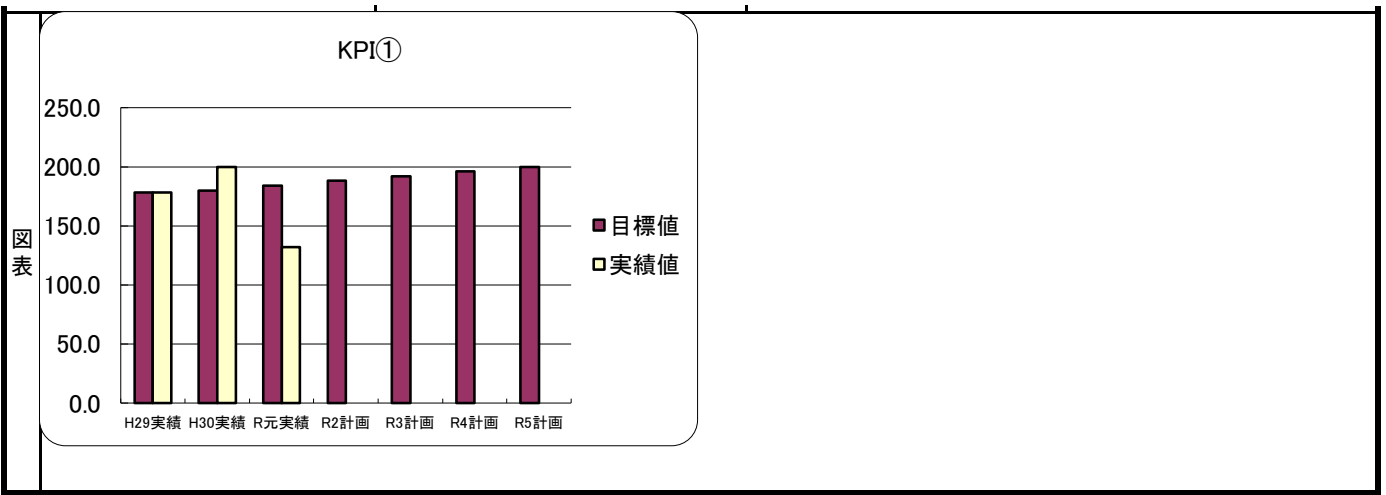
1. 施策の担当	
主管課	こども部 子育て支援課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり (子育て・教育)	節 第1節 子ども・子育て
	施策	少子化対策の推進	
基本方針			
若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりを推進します。			
現況と課題			
少子高齢化が進み、生涯未婚率も上昇する中、若い世代が結婚の希望を叶え、新生活に踏み出せる支援が必要です。			
施策目標			
対象 (誰を、何を、どこを)			
若い世代			
意図 (どのような状態にしたいのか)			
若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境を目指して、施策を推進します。			

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)							
重要度 (偏差値)							

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	H30決算	R元決算				
	事業費	千円		3,370				
財源の内訳	フルコスト			5,678				
	国庫支出金	千円		9,048				
	府支出金			1,382				
	市債			0				
	その他			0				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)			7,666				
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)			4,296					

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1 出会いの機会創出事業への参加者数							
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	178.0	180.0	184.0	188.0	192.0	196.0	200.0
実績値	178.0	200.0	132.0				
達成度	100.0	111.11	71.74				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
イベントへの参加者数により、結婚を希望する若い世代が、出会いの機会を得て、ライフデザインを考えるきっかけとなったことを計ります。		平成29年度の参加者数の実績値を基に、令和10年度までに40人程度の増加を見込み、令和元年度以降の増加を平均4人ずつと設定しました。			令和元年(平成31)年度は従来とはイベントの趣向を大きく変え、その内容に即し定員を従来より低めの設定としたため参加者が減少しています。		



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	周辺市では実施しているところが少なく、積極的に取組んでいる施策であります。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	定員に対し、申込率は高く、市民ニーズは高いと考えられます。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	「少子化社会対策大綱（令和2年5月29日閣議決定）」において、地域の実情に即した取組みを強化することが盛込まれ、少子化対策を継続的に進めていく必要があります。
	合計点	(10点中) 6点	
	総合評価	C	国の動向やアンケート等の対象者のニーズに即し、継続的な取組みが必要です。
二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）		C	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価（理事者による評価）		C	引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R元年度決算額			R2年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01083272	出会いの機会創出事業	1,685	2,907	2,907		B
2	01083275	結婚新生活支援事業	1,685	2,771	1,389		B
合計			3,370	5,678	4,296		